

新年のびじ役授



町長 上山章善

安心・安全に暮らせる まちづくりを目指して

皆さま、新年明けましておめでとうございます。平素は、町行政に対してご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今年も引き続き、町民の皆さまに「安心安全」を、そしてふるさと湯浅を素晴らしい町にしていこうと、多くの方々のご意見を耳を傾け、全力で町政運営に取組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

さて、昨年を振り返りますと、湯浅町制施行120周年をはじめ第40回を迎えた湯浅まつり花火大会、重要伝統的建造物群保存地区選定10周年など、本町にとって大きな節目の年でありました。そして、私が町民の皆さまと約束した「誰もが安心して安全に暮らせるまちの実現」に立ち返り、本町のさらなる発展に向け、新たな一歩を踏み出した年となりました。これまで、さまざまな苦難に直面することもありますが、しかし、町民の皆さまのお力添えにより、今日を迎えていますことに、感謝とお礼を申し上げます。

さて、日本は今、全国的な人口減少や首都圏への人口集中を背景に、国土止めをかけ、地方に活力

を取り戻すための事業「地方創生や少子高齢化社会に真正面から挑み、希望を生み出す強い経済、夢をつむぐ子育て支援、安心につながる社会保障を目指す」「一億総活躍社会」の実現に向け、国を挙げての取組みが進められています。本町においても、施策の大きな方向性を示す「湯浅町長期総合計画後期基本計画」や人口の現状分析と将来人口の推計を示した「人口ビジョン」、中期的な基本目標や具体的方策をまとめた「湯浅町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定、推進し、輝かしい未来を切り拓いていくための基礎作りを進めてまいります。

本町には、国内外に誇る歴史文化や醤油、金山寺味噌、みかん、新鮮な魚介類といった魅力がたくさんあります。そのような中で、大きな社会構造の変化へ柔軟に対応し、まちが元気になるよう、町民の皆さまと一丸となって、総合戦略をはじめとする計画に基づき、本町が有する多くの資源を活用した雇用創出、住みよい環境整備によりした定住促進などを進めてまいりますと考えています。とりわけ、湯浅町周辺整備により、魅力的な土地利用につなげるとともに、安心・安全・快適な都市基盤

の整備を進めます。また、将来を担う若い世代の定住を進めるため、老朽化が進む保育所の整備など子育て環境の充実に積極的な取組んでまいります。

今後ますます進むとされる人口減少を食い止めることは簡単なことではありませんが、一つ一つの課題を着実に解決していくことで、多くの方々が「住んでみたい」と感じられる湯浅町を創り上げることでできると確信しています。

最後になりましたが、本年が皆さま方にとって、健康で喜びと幸せに満ちた年となりますことをお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。



安心で住みやすい、 まちづくりを目指して

湯浅町議会議長 松本典久

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこと心よりお慶び申し上げます。旧年中は町議会に對しまして、温かい支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は湯浅町制施行120周年を迎えたことによる各種記念イベント等により、新たに湯浅町の魅力を町内外にPRし、知名度向上を図っていったものと自負しております。昨年の議会の取組みとして、多くの町民の皆さまに傍聴にお越しいただくよう、一般質問が行われる本会議の前日と当日に町内放送での周知を始めました。結果、旧庁舎での本会議傍聴者は毎回数名程度でしたが、新庁舎で行われるようになつた以降、平均約50名の方々が傍聴されるようになり、議会としても町民の

皆さまの協力を感謝するものです。その中で、新年を迎えることになりましたが、今年も町制の進展と円滑な議会運営に取り組み、町民の皆さまの意思を町政に反映させる重要な役割を担っていきたくと思っております。

さて、我が国において最も大きな課題は、人口減少問題であり、今後、少子化の克服や生産性の向上など社会・経済自体を変えることに取り組むことが課題であります。特に本町のような過疎地域では、人口の減少と高齢化により、地域のコミュニティの維持や地域活動そのものが困難になるものと懸念されます。そうした中で、定住人口を増やすためには、町外からの人口の流入はもとより、現在町内で生活している皆さまが安心して住みやすいまちづくりが重要と考えます。

わが町湯浅町は豊かで住みよい、

活力に満ちたまちづくりを推進するため、観光資源を活用するなど地域の特色を活かし、町民の方々が中心となる地域づくりを進めていかなければならないと考えております。

これからは、湯浅町に住みたいという方々を呼び込み、行政と共にいう方を合わせて取り組んでまいります。

私たち議員は、住民の代表としてのお任を新たに、町の活性化と、町民の皆さまが今まで以上に暮らしやすい魅力あふれるまちづくりを目指して、取り組んでまいります。

どうか本年も相変わらず、町民の皆さま方のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆さま方の益々のご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。

年頭に当たっての 御挨拶

教育長 垣内 貞



明けましておめでとございます。皆さまには新年を迎え、心身ともお健やかのこととお慶び申し上げます。さて、私も教育委員会も町全体の健やかな成長を念願しつつ、学校教育・社会教育の充実に尽力しております。

湯浅町は、昔より「教育の町」といわれ、翻って考えますと、昭和に入つて湯浅小学校の児童・生徒は千八百人を超え、一堂に会して、式典や集会をする場所がなく、「講堂が欲しい」と、子どもたちが小遣いを我慢して、月々一銭貯金を始めました。

これに動かされた町は、昭和十一年（一九三六年）県下一とい

われる立派な講堂を、子どもたちにプレゼントしました。それが数年前耐震補強を済ませ、いまま堂々とその偉容を誇り、入学式、卒業式の式典や、音楽会、集会場、それに体育館として児童たちに大切に使用され、文化庁からは国の建築の宝として「登録文化財」に指定されております。

これとともに平成二十二年度からは、湯浅小学校・湯浅中学校の新築、山田・田福川・田の各小学校の耐震補強やプールの新築などで、見違えるような学校施設となり、児童・生徒もそれに応えて落ち着いて、勉強や体力づくりに励んでおります。

教育委員会といたしましては、

このような環境のなか、数年前より町内の保護者の方達に、子育てに関して相談を受ける家庭支援チーム「とらあかんぐる」をつくり、最近他府県からの見学者が増え、成果を挙げつつあります。

本年は、さらに学校教育、社会教育、生涯教育に力点を置いて、さらに尽力して参りたいと願ひしております。

終わりに、皆さま方のご健勝をお祈りして、新年の御挨拶いたします。

謹んで新年のあいさつを 申し上げます

- | | | | |
|-------|-------|-----|-------|
| 町長 | 上山 章善 | 副町長 | 中 美二 |
| 議長 | 松本 典久 | 副議長 | 松本 光成 |
| 議員 | 石橋 歌子 | 議員 | 小松 英夫 |
| 議員 | 石本 一也 | 議員 | 横矢 政明 |
| 議員 | 山家 敏宏 | 議員 | 山田 真里 |
| 議員 | 由良 祥治 | 議員 | 山本 年哲 |
| 教育委員会 | 垣内 貞 | 教育長 | 松本 瑞應 |
| 職務代理 | 井上 栄次 | 委員 | 竹井 沙賢 |
| 委員 | 中井 沙賢 | | |